２０２６年10月19日
第72号

JR東労組 Yokohama

JR東労組横浜地本
発行人　椀田優一
編　集　情宣担当
ホームページ
http://www.jreu-yokohama1.jp/

横地申第２号　南武線と鶴見線乗務業務の一元化に関する解明申し入れ　団体交渉を行う！⑤

16. 乗務員は2交番で行うとされているが、その内訳を明らかにすること。
【会社回答】乗務割交番については現在検討しているところであり、教育・訓練の進捗状況等を踏まえ決定していく考えである。

組　合	会　社
2交番の内訳について示すこと。	現在検討中である。訓練の進捗状況を見て決定し、周知する。
1つの行路内での混み運用は考えているのか。	その可能性は否定しない。
混み運用となると安全面で懸念がある。線区最高速度やワンマンの取り扱い等、区切りが付けられるようにするべきだ。	意見として承る。
行路を作成する上での考え方として持つべきである。	業務一元化にあたり、教育・訓練の進捗状況に合わせて切り出しのスタートとなる。教育・訓練の短縮は考えていない。終わりを決めてそこに合わせるような行路作成は行わない。然るべきタイミングで示していく。

17. 乗務員の1交番化は、何年後を見込んでいるのか明らかにすること。
【会社回答】乗務割交番を1つにする時期については現時点で示せるものはない。将来的に1交番の運用を目指して、必要な教育及び線見を実施しているところである。

組　合	会　社
1交番化は何年後を見込んでいるのか。	いつとは決めていない。鶴見線しか乗務できない人がいる中で急いでしまえば、全て乗務できる方に負担がかかる。
大枠としての考え方はないのか。	示せる段階にない。

18. 中原乗務出勤に伴い、現・鶴見乗務にある早日勤行路が無くなるのか明らかにすること。
【会社回答】具体的な行路設定については、決定したら必要な周知は実施していく。

組　合	会　社
現鶴見乗務にある早日勤の解消は考えているのか。	検討中である。早い時間の行路設定は課題がある。

19. 中原乗務、鶴見乗務それぞれにおいて、一元化後に短時間行路を増やすのか明らかにすること。
【会社回答】短時間勤務を希望する社員の状況等を踏まえながら短時間行路を決定する。なお、必要な周知は実施していく。

組　合	会　社
現時点で考えている内容を示すこと。	コミュニケーションを図りながら状況に応じて対応していく。
全て「その他時間」なのか。それとも乗務行路を割り振るのか。	乗務員は基本的に乗務である。コミュニケーションを図りながら、社の生活設計に配慮していく。

20. 中原乗務出勤に伴い、便乗で鶴見駅に行くことにより、現・鶴見線担当の 1 行路分の乗務キロが減少するのか明らかにすること。
【会社回答】現時点では、主たる勤務箇所は中原乗務とすることで考えており、具体的な行路設定については、決定したら必要な周知は実施していく。

組　合	会　社
現時点で考えている内容を示すこと。	行路については検討中である。便乗が増えることは認識している。安全性や効率性を鑑みて行路を作成していく。
中原乗務で出勤し、中原～川崎～鶴見経由での便乗となる。前後の拘束時間が増加し、訓練が受けられなくなる。	拘束時間も見ながら検討している。就業規則に則り、行路を作成していく。
便乗が増える分、拘束時間を延ばすのか。それとも、交番の枠数を増やすのか。	その点については検討している段階である。

次号⑥に続く